

和歌山をめぐる

LOCALISM AND MODERNISM: THROUGH THE LENS OF WAKAYAMA

ローカリズムとモダニズム

2025年7月12日[土]ー9月15日[月・祝]



①シアトル・マクブライド・スタジオ《ブロンズに寄る保田龍門》1920(大正9)年
ゼラチン・シルバー・プリント 和歌山県立近代美術館蔵

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館

学芸担当：奥村一郎 広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp

W E B : <https://www.momaw.jp>



WEB



Facebook



X



Instagram

和歌山をめぐるローカルズムとモダニズム

和歌山県立近代美術館は、明治期からの「近代」という時代の美術を対象として、美術館活動をおこなっています。和歌山ゆかりの美術家を中心に、その活動を顕彰／検証することは、当館にとって大切な仕事のひとつです。

開国以来、西洋から「美術」という新たな価値観が流入するなか、それらとどのように向き合うかということは、作り手にとって大きな課題でした。そして明治から大正、昭和にかけて、洋画、日本画、彫刻、写真などそれぞれの分野における新たな挑戦や実践の連なりによって、日本における近代美術が形作られています。今回の展示は、こうした流れのなかでの、ここ和歌山における美術の動きをいくつか辿ることで、ローカルズム＝地域性に根ざしながら、モダニズム＝近代美術のあり方について再考する当館の活動を紹介するものです。

最初に採り上げるのは、明治末から大正はじめにかけて描かれた、大亦新治郎による和歌山市内の風景のスケッチです。絵画を学習する過程で描かれたこれらの作品からは、当時の町の姿だけでなく、西洋由来の水彩や鉛筆を用いたスケッチに取り組む学生の様子についてもうかがうことができます。また地域における美術団体やグループの一例として、大正期における南紀洋画展覧会、そして南紀美術会に参加した美術家たちの作品を紹介します。保田龍門、川口軌外など、後に和歌山を代表する美術家となる面々の若き日の姿を、ここには見るができます。さらに写真の分野において、大正から昭和にかけてのモダニズムの時代を体現した、島村逢紅と木国写友会の活動を紹介します。

また、和歌山の近代を考える上では、海外へ多くの移民を輩出した歴史も重要です。特にアメリカへ渡った美術家たちの研究に、当館では長く取り組んできました。本展の最後には、石垣栄太郎、浜地清松、ヘンリー杉本、上山鳥城男らの作品や資料を、近年の研究視点にもとづいて展示します。

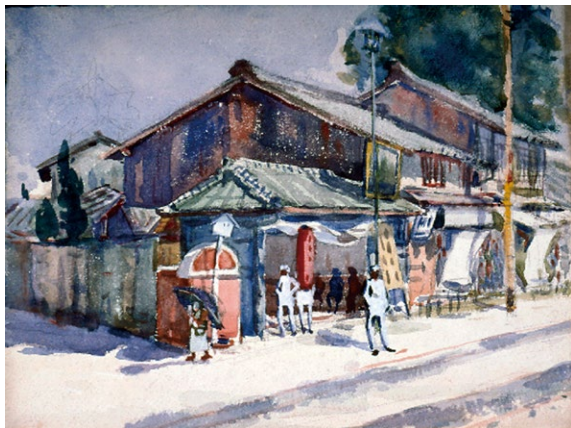
和歌山の近代美術館として、こうした当地ゆかりの美術を研究する活動から、大きな歴史を再考する端緒を見つけていきたいと考えています。

開催概要

展覧会名	和歌山をめぐるローカルズムとモダニズム
主 催	和歌山県立近代美術館
会 場	和歌山県立近代美術館 1階展示室
会 期	2025(令和7)年7月12日(土)～9月15日(月・祝)
開館時間	9時30分～17時(入場は16時30分まで)
休 館 日	月曜日(祝休日の7月21日、8月11日、9月15日は開館)、 7月22日(火)、8月12日(火)
観 覧 料	一般600(480)円、大学生330(290)円 ()内は20名以上の団体料金 *同時開催の「なつやすみの美術館 15 美術の歴史と歴史の美術」及び「MOMAW コレクション 現代の美術」も観覧可能 *高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料 *毎月第4土曜日(7月26日、8月23日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料 *毎月第1日曜日(8月3日、9月7日)は無料入館日

主な出品作品

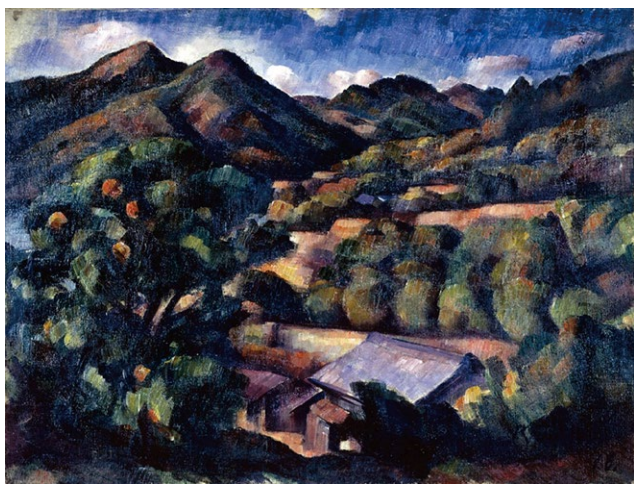
掲載用画像については広報担当にお問合わせください。
文字のせ、トリミング等はご遠慮ください。



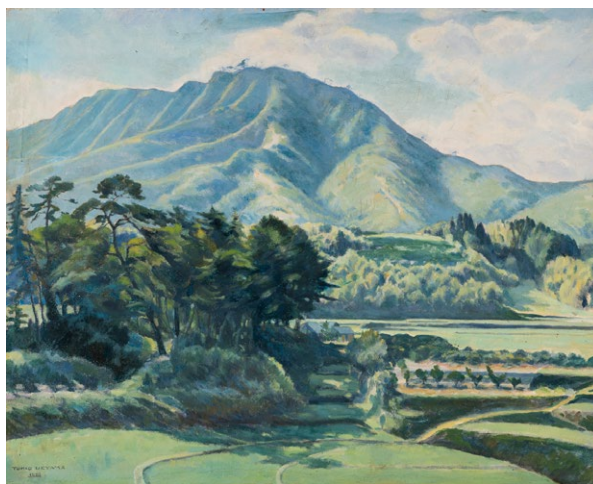
②大亦新治郎《扇之芝》1911(明治44)年頃 水彩、紙
和歌山県立近代美術館蔵



③川口軌外《鳥尾川風景(丹生ノ図)》1910(明治43)年 水彩、紙
和歌山県立近代美術館蔵



④保田龍門《風景》1918(大正7)年 油彩、キャンバス
和歌山県立近代美術館蔵



⑤上山鳥城男《鳥屋城山》1936(昭和11)年 油彩、キャンバス
和歌山県立近代美術館蔵



⑥島村逢紅《陽子の像》1939(昭和14)年
ゼラチン・シルバー・プリント 個人蔵



⑦浜地清松《五番街》1918(大正7)年頃
油彩、キャンバス 和歌山県立近代美術館蔵



⑧東絃二(印刷兼編集兼発行人)
『腕と腕』創刊号 12月号
1929(昭和4)年12月5日発行
謄写版、紙(冊子) 和歌山県立文書館蔵

関連事業

▶ ギャラリートーク(担当学芸員がお話しします) *要観覧券

日 時: 7月27日(日)、8月2日(土)、8月23日(土) 各日 14時～ 1時間程度

場 所: 和歌山県立近代美術館 1階展示室

同時期に開催の展覧会

▶ なつやすみの美術館 15

美術の歴史と歴史の美術

7月12日(土)～9月15日(月・祝)

▶ MOMAW コレクション 現代の美術

第2期: ～7月21日(月・祝)

第3期: 7月26日(土)～9月7日(日)

第4期: 9月12日(金)～10月19日(日)

▶ 県立博物館(となり)の展覧会

ぎおんなんかい

祇園南海の詩と書 — 教養・芸術・心情 —

6月14日(土)～7月21日(月・祝)

夏休みこども向け企画展 くらべてみよう!ふたりの絵

8月2日(土)～9月23日(火・祝)